

平成30年4月19日付【水道新聞】【日本下水道新聞】 九州支部<災害復旧支援の軌道を振り返る> 2年の節目で座談会 官民で課題抽出、意見交換

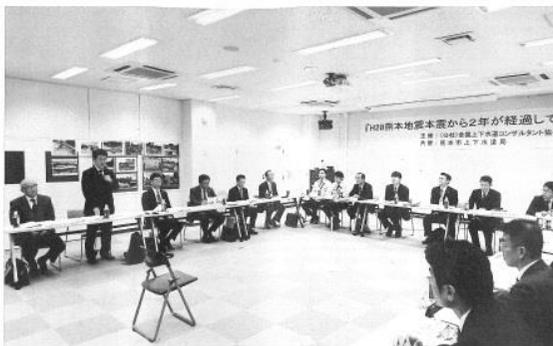
水コン協会の支援活動一覧表

No.	会員名	所在地	支援内容
1	熊谷コンサルタント㈱	福岡市	熊本市：上水道の実施作業班として査定資料作成
2	アジアエンジニアリング㈱	福岡市	熊本市：上水道の実施作業班として査定資料作成
3	オリジナル設計事務所日本支社	福岡市	熊本市：上水道、下水道の実施作業班として査定資料作成 朝倉町：下水道施設の査定資料作成
4	九州水工設計㈱	佐賀市	益城町：下水道の実施作業班として査定資料作成
5	共立設計㈱	熊本市	益城町：上水道の現地本部班及び実施作業班として査定資料作成 阿蘇市・大津町：下水道の実施作業班として査定資料作成
6	熊三コンサルタント西野支社	福岡市	熊本市：上水道、下水道の実施作業班として査定資料作成
7	熊大平設計	北九州市	熊本市：上水道の実施作業班として査定資料作成
8	熊東工設計事務所九州支社	福岡市	熊本市：上水道の現地本部班、上下水道の実施作業班として査定資料作成 益城町：下水道の現地本部班、実施作業班として査定資料作成
9	熊NSR 国庫支社九州総合事務所	福岡市	益城町：下水道の実施作業班として査定資料作成 豊島町・大津町：下水道施設の査定資料作成
10	日本水工設計九州支社	福岡市	熊本市：下水道の現地本部班、上下水道の実施作業班として査定資料作成 阿蘇市：下水道施設の査定資料作成
11	熊日本コンサル支社	福岡市	熊本市：上下水道の現地本部班及び実施作業班として査定資料作成 宇城市：下水道施設の査定資料作成
12	熊コムウェア九州支社	福岡市	宇土市：下水道管網施設の査定資料作成
13	富野設計九州支社	福岡市	熊本市：上水道の現地本部班、及び上下水道の実施作業班として査定資料作成 九重町：下水道施設の査定資料作成
14	熊和建設社	北九州市	熊本市：上水道の現地本部班及び上下水道の実施作業班として査定資料作成

水コン協九州支部の支援対応の経過

月	日	経	概	要
4	14		・熊本地方を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生 ・熊本市と支援協力に関する協定書について協議→協定書締結14日付：熊本市・益城町	
4	15		・九州支部現地対策本部を事務局内に設置（7時30分） →九州・山口ブロック下水道事業災害時支援体制連絡会議の下水道対策本部員に就任	
4	16		・熊本地方を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生（本震）	
4	17		・益城町より災害査定資料作成に関する支援要請	
4	22		・熊本市より災害査定資料作成に関する支援要請 （大都市ルールで派遣されている大阪市より）	
4	25		・支部運営委員会（福岡市） →熊本地震の支援の在り方を協議 現地本部班（下水道）設置を決定→2社体制	
4	26		・現地本部班（下水道）業務開始	
5	2		・熊本市と下水道実施作業班及び契約方法等について協議（実施作業班→7班を示唆） ・熊本より上水道関係の支援要請 施設：全施設の点検調査、復旧方法、査定資料の作成 管路：水管機等の構造物の点検調査、管路復旧の査定資料作成	
5	9		・上水道支援について幹事協議 現地本部班（上水道）の設置を決定→4社体制 下水道第1回合同会議（査定業務の業務協議） 行政：熊本市、大阪市、東京都、仙台市、県関係（北九州市） 水コン協：現地本部班・実施作業班	
5	11		・上水道支援の実務協議 →熊本市と水コン協（現地本部班） ・益城町現地本部班始動	
5	17		・厚生労働省主催の「水道施設災害復旧査定説明会」	
5	23		・上水道支援に伴う実施計画書提出	
5	25		・水コン協現地本部班（上水道）始動 →上水道施設の点検調査開始（実施作業班：7班）	
6	1		・下水道第2回合同会議（作業体制・査定資料作成に関する基本事項等）	
6	10		・下水道第3回合同会議（査定資料作成の基本方針の確認）	
6	13		・水管機の調査開始（実施作業班：10班）	
6	15		・上水道支援全体会議 →査定資料作成について（施設・水管機・管路） ・下水道全体会議（最終）	
9	9		・水コン協現地本部班解散（熊本市・益城町）	

水コン協 2年の節目で座談会



官民関係者が一堂に会し座談会



吉澤技監

合同会議の様子（被災当時）

官民で課題抽出、意見交換

熊本地方を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生し、4月16日にはマグニチュード7.3の本震が発生。熊本地方は壊滅的な被害を受けた。水コン協九州支部は、被災直後から支援活動を開始し、2年が経過した。この節目で、官民関係者が一堂に会し座談会を開催し、課題抽出と意見交換を行った。

座談会には、熊本市、益城町、水コン協九州支部の代表者、関係機関の担当者、市民代表者が参加した。座談会では、被災当時の状況、支援活動の経過、課題抽出、意見交換が行われた。

座談会では、被災当時の状況、支援活動の経過、課題抽出、意見交換が行われた。座談会では、被災当時の状況、支援活動の経過、課題抽出、意見交換が行われた。

災害復旧支援の軌跡を振り返る

熊本地方を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生し、4月16日にはマグニチュード7.3の本震が発生。熊本地方は壊滅的な被害を受けた。水コン協九州支部は、被災直後から支援活動を開始し、2年が経過した。この節目で、官民関係者が一堂に会し座談会を開催し、課題抽出と意見交換を行った。

